KM 56 R

2 - 18　　取扱説明書

目次

1 コンビツール.. 2
2 はじめに..2
3 使用上の注意および作業方法.................... 3
4 承認されたコンビツール.......................... 6
5 ループ ハンドルの取り付け.......................7
6 吊り下げ用リング.................................... 8
7 燃料...8
8 給油...9
9 エンジンの始動と停止............................ 10
10 作業中の注意事項................................. 12
11 エアーフィルターの掃除......................... 12
12 キャブレターの調整................................13
13 スパーク プラグ.....................................13
14 エンジンの動作......................................14
15 機械の保管... 14
16 整備表.. 15
17 磨耗の低減と損傷の回避......................... 15
18 主要構成部品.. 16
19 技術仕様...16
20 整備と修理..17
21 廃棄..17
22 EC 適合証明書....................................... 17
23 UKCA 適合宣言......................................18

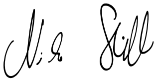
お客様各位

この度は STIHL 社の製品をお買上げいただきまして誠に有難うございます。

この製品は、最新の製造技術と入念な品質保証処置を施して製造されました。私共は、お客様がこの製品を支障なく使用され、その性能に満足していただくために最善の努力を尽くす所存でおります。

本製品に関してご不明な点がありましたら、お買上げの販売店または当社カスタマーサービスにお問い合わせください。

敬具



Dr. Nikolas Stihl

1 コンビツール

STIHL コンビシステムでは、パワーツールとしてさまざまなコンビエンジンやコンビツールを組み合わせることができます。本取扱説明書では、コンビエンジンとコンビツールで構成される本体一式をパワーツールと呼びます。

そのため、パワーツールにはコンビエンジン用とコンビツール用の各取扱説明書が必要です。必ず両方の取扱説明書を読み、内容を理解してからパワーツールの使用を開始し、取扱説明書は以後の参照用に安全な場所に保管してください。

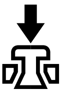
2 はじめに

2.1 シンボルマークについて

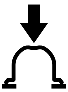
機械に表示されているシンボルマークの意味は、本取扱説明書に説明されています。

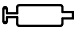
対象の機種によっては、以下のシンボルマークが機械に表示されている場合があります。

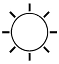
燃料タンク、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料


デコンプバルブの操作

手動燃料ポンプ


手動燃料ポンプの操作


グリースチューブ


インテークエアー： 夏季作業

インテークエアー： 冬季作業

ハンドルヒーター

2.2 段落の前に付いたシンボルや数字

警告

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

2.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

元の取扱説明書
0000000933_028_J
無塩素漂白紙使用
印刷インクには植物油が使用され、紙はリサイクル可能です。
© ANDREAS STIHL AG & Co. KG 2022
0458-540-4321-D. VA0.B22.

このため、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

3 使用上の注意および作業方法

パワーツールを使用するときは、特別な安全上の注意事項を遵守する必要があります。

初めて本機を使用する前に、両方の取扱説明書 (コンビエンジンおよびコンビツール) を注意深くお読みになり、必要な時に見られるよう確実に保管してください。取扱説明書の記載事項を遵守しないと、重傷または致命傷さえも負うことがあります。

現地で適用される安全規制 (業界団体、社会保険機関、労働安全局等が定める規定) にすべて従ってください。

本機を初めて使用する場合 : STIHL サービス店または他の経験豊富なユーザーに機械の操作法を教わるか、専門的な研修に参加してください。

未成年者には絶対に本機を使用させないでください。ただし、監督下で作業を進める 16 歳以上の訓練生は例外です。

子供、動物、見物人を近付けないでください。

機械を使用しないときは、他人に危険が及ばないよう配慮して下に置いてください。機械が無断で使用されないよう対策を講じてください。

第三者の事故や負傷またはその所有物の損壊を防止することは、使用者の責任です。

機械は、当該機種とその操作を熟知している人以外には譲渡したり、貸与したりしないでください。必ずコンビエンジンとコンビツールの取扱説明書を本機と共に手渡してください。

騒音を発する機械の使用が、国や地域の規則によって特定の時間帯に制限されている場合があります。

機械の操作者は、十分に休息を取り、身体的· 精神的に健康でなければなりません。

激しい労働に耐えられない体調の方は、かかりつけ医に相談してから機械を使用してください。

ペースメーカー着用者向けの注意点 : 本機のイグニッションシステムは微弱な電磁界を発生します。その電磁界がペースメーカーに干渉する場合があります。健康上のリスクを低減するために、STIHL 社ではペースメーカー着用者にかかりつけ医やペースメーカー製造業者に相談されることをお勧めしています。

動作を鈍らせるアルコール、薬物、薬剤を服用した状態では、本機を使用しないでください。

パワーツールは、お使いになるコンビツールの取扱説明書に記載されている用途にだけ使用してください。

本機を他の目的に使用しないでください - **事故が起きる危険があります !**

機械が損傷するおそれがあるため、コンビエンジンは必ずコンビツールを適切に取り付けて使用してください。

STIHL 社が本パワーツールに使用することを明確に承認したか、仕様が同等のコンビツールとアクセサリーだけを使用してください。「承認されたコンビツール」の項をよくお読みください。ご不明な点は、サービス店にお問い合わせください。事故や本機の損傷を防ぐために、高品質の部品とアクセサリーのみを使用してください。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリーの使用をお勧めしています。そうした純正品は製品に適合し、お客様の性能要件を満たすように特別に設計されています。

いかなる方法であれ、絶対に本パワーツールを改造しないでください。負傷する危険性が高まるおそれがあります。STIHL 社は、承認されていないアタッチメントを使用した際のケガや物的損害に対して一切法的責任を負いません。

本パワーツールの清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷するおそれがあります。

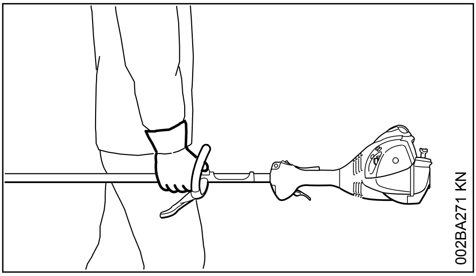
3.1 衣服と装備

適切な防護服と装備を身に付けてください。

木々、茂み、機械の可動部品に絡まるおそれがある衣服は着用しないでください。スカーフ、ネクタイ、装身具は身に付けないでください。長髪は結び、肩よりも高い位置でまとめてください。

使用するコンビツールの取扱説明書の「衣服と装備」に記載されている注意事項も参照してください。

3.2 機械の運搬



必ずエンジンを切ってください。

車両輸送：転倒、損傷、燃料漏れを防ぐためにパワーツールを適切に固定してください。

使用するコンビツールの取扱説明書の「機械の運搬」に記載されている注意事項も参照してください。

3.3 給油

ガソリンは可燃性が極めて高い液体です。火気を近付けないでください。燃料をこぼさないでください。喫煙しないでください。

必ずエンジンを切ってから給油してください。

エンジンが高温のときは給油しないでください - **燃料がこぼれ、火災が生じる危険があります。**

タンク内の高圧が徐々に抜け、燃料が噴き出さなくなるよう、燃料キャップは慎重に開けてください。

必ず換気の良い場所で給油してください。燃料がこぼれたときは、直ちに機械を清掃してください - 燃料が衣服にはね飛ばないよう注意してください。燃料が衣服に付着したときは、速やかに着替えてください。

給油後は、スクリュー式燃料キャップをできるだけしっかりと閉めてください。

確実に閉めると、燃料タンクキャップがエンジンの振動によって緩むか外れ、大量の燃料が漏れ出す危険が低減されます。

漏れの有無を確認します。燃料が漏れている場合はエンジンを始動しないでください - **重度の火傷または致命的な火傷を負うおそれがあります！**

3.4 作業開始前

パワーツールが適切に組み立てられ、正常な状態になっているか点検します。本取扱説明書の関連する章を参照してください：

- 燃料システム、特に燃料タンクキャップ、ホースコネクター、手動燃料ポンプ (手動燃料ポンプ付きの機械のみ) 等の目視が可能な部品が漏れていないか点検します。漏れや損傷を発見した場合は、エンジンを始動しないでください - **火災が起きる危険があります！**サービス店で機械を修理してから再使用してください。
- 組み合わせが承認されているカッティングアタッチメント、デフレクター、ハンドルおよびハーネスのみを使用してください。すべての部品は、適正かつ確実に組み立てられている必要があります。
- 停止スイッチは容易に 0 の位置に移動できなければなりません。
- チョークレバー、スロットルトリガー、スロットルトリガーロックアウトがスムーズに作動するか点検します。スロットルトリガーは自動的にアイドリング位置に戻らなければなりません。スロットルトリガーロックアウトとスロットルトリガーを握ると、チョークレバーが と の位置から運転位置 **I** に戻らなければなりません。
- スパークプラグターミナルがしっかりと差し込まれているか点検します。緩んでいる場合は火花が発生し、可燃性のガスに引火し、**火災が発生するおそれがあります！**
- 絶対に操作部や安全装置を改造しないでください。
- ハンドルは乾いた清潔な状態 (オイルや汚れが付着していない状態) に保ちます。これは、機械を安全に操作するために重要です。
- ハーネスとハンドルを身長や手の長さに合うよう調整します。

負傷事故が生じる危険を低減するために、損傷したパワーツールや適切に組み立てられていないパワーツールは使用しないでください！

ハーネス使用時の緊急事態に備えるために：本機を素早く地面に降ろす練習をします。機械が損傷するおそれがあるため、この練習中に本機を地面に投げ降ろさないでください。

使用するコンビツールの取扱説明書の「始動前」に記載されている注意事項も参照してください。

3.5 エンジンの始動

給油場所から 3 m 以上離れた場所でエンジンを始動します。屋外に限ります。

パワーツールを屋外の安定した地面に置きます。バランスと安定した足場を確保してください。パワーツールをしっかりと保持します。エンジン始動時に作動するおそれがあるため、アタッチメントを地面や他の障害物に接触させないでください。

負傷する危険を低減するために、アタッチメントに触れないでください。

エンジンの落としがけをしないでください。取扱説明書に従って始動してください。スロットルトリガーを放しても、アタッチメントはしばらく作動し続けます。フライホイール効果によるものです。

アイドリング回転数の設定を確認します : アタッチメントは、スロットルトリガーを放し、エンジンがアイドリング中のときは、作動してはいけません。

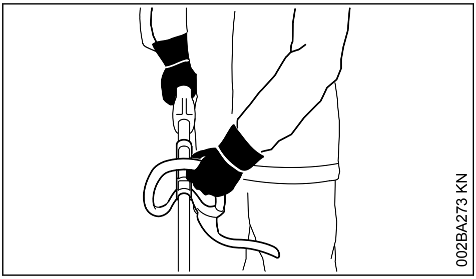
燃えやすい物 (木屑、樹皮、枯れ草、燃料等) は高温の排気ガスや高温のマフラー表面に近付けないでください。**火災が生じるおそれがあります！**

使用するコンビツールの取扱説明書の「エンジンの始動」に記載されている注意事項も参照してください。

3.6 機械の保持と操作

必ず両手でパワーツールのハンドルをしっかりと保持します。

バランスと安定した足場を確保してください。



ループハンドルを左手で、コントロールハンドルを右手で握ります。左利きでも同様です。

3.7 作業時

危険が差し迫っている場合や緊急時は、速やかにエンジンを切ってください。停止スイッチを 0 の位置に動かしてください。

スロットルトリガーを放したときにアタッチメントが確実に停止するためには、エンジンを適正なアイドリング回転数に調整することが重要です。アイドリング中もコンビツールが作動する場合は、販売店店に適切な調整または修理を依頼してください。定期的にアイドル回転数の設定を点検し、修正してください。STIHL 社では、この作業を STIHL サービス店で実施されることをお勧めしています。

イヤープロテクターを着用している場合は、危険を告げる声 (叫び声、警笛等) が聞こえにくくなるため、通常よりもさらに注意が必要です。

疲労を感じたときは休憩を取ってください – **事故が起こるおそれがあります！**

冷静かつ慎重に作業を行ってください - 日中の視界が十分なとき以外は作業を行わないでください。慎重に作業を進め、他者に危険が及ぼないよう配慮してください。

パワーツールは、コンビツールの取扱説明書に明記されている用途だけに使用してください。

エンジンが始動するとすぐに、パワーツールから有毒な排気ガスが発生します。排気ガスは無臭で目に見えない場合があり、未燃焼の炭化水素とベンゼンが含まれているおそれがあります。屋内や換気状態の悪い場所では、絶対にエンジンをかけないでください。触媒コンバータが装着されている機種でも同様です。

有毒ガスを吸い込んで重症または致命傷を負う危険を低減するために、溝、くぼ地、他の狭い場所での作業時は、適切に換気してください。

事故が生じる危険を低減するために、吐き気、頭痛、視覚障害(視野狭窄等)、聴覚障害、めまい、注意散漫の症状が生じた場合は、直ちに作業を中止してください。これらの症状は、作業エリアに極めて高濃度の排気ガスが存在する場合にも現れることがあります。

機械は、騒音と排気ガスの発生が最小限になるように操作してください - 不必要にエンジンをふかさず、作業時のみエンジンを加速してください。

火災が生じる危険を低減するために、作業中やパワーツールの付近では**喫煙は避けてください**。燃料システムから可燃性の気化燃料が漏れ出すおそれがあります。

作業中に発生する塵埃、ガス、噴煙は健康を害することがあります！大量の粉塵または噴煙が発生する場合は、呼吸保護具を着用してください。

パワーツールに設計強度を超える異常な負荷が加わった (強い衝撃が加わるか、落下した) 場合、必ずパワーツールが正常かどうか点検してから作業を続けてください (「作業開始前」を参照)。特に燃料システムが漏れていないか点検し、安全装置が完全に作動しているか確認してください。安全に操作できなくなったパワーツールは、絶対に使用しないでください。ご不明な点は、販売店にお問い合わせください。

チョークレバーを 暖機スタート位置に合わせたままパワーツールを操作しないでください。この位置ではエンジン回転数を調整できません。

機械から離れる前に : 必ずエンジンを切ってください。

負傷する危険を低減するため、必ずエンジンを切ってからコンビツールまたはアタッチメントを交換してください。

3.8 振動

チェンソーを長時間使用した場合には、振動の影響により手の血行不良が生じることがあります(「白ろう病」)。

以下をはじめ、多くの事柄が影響するため、一般的な使用時間の設定は不可能です。常に各国の安全規制、基準、条例をお守りください。

以下の対策をとると使用時間を延長できます :
– 手の防護(暖かい手袋)
– 休憩を取りながら作業する

以下の場合には使用時間を短くします :
– 血行不良の特殊体質 (症状 : 指が頻繁に冷たくなる、指が疼く)。
– 低い外気温。
– ハンドルを摑む力の強さ (摑む力が強いと血行が低下します)。

機械を日常的に長時間使用したり、該当する症状(指のしびれ等)が繰り返し発症する時は、医師による診断をお薦めします。上記のいずれかの症状が現れたら(指が疼くなど)、医師にご相談ください。

3.9 整備と修理

定期的に本機を整備してください。取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業はスチール サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して、不明な方はスチール サービス店へお問い合せください。

当社ではスチール純正交換部品のご使用をお勧めします。これらの部品は、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

不意にエンジンが始動して**ケガをする危険性**を軽減するために、修理、保守、および清掃作業前には**常にエンジンを停止して、スパークプラグターミナルを取り外してください**。 - 例外: キャブレターおよびアイドリング回転数の調整。

スパークプラグターミナルまたはスパークプラグを外した状態で、スターターを作動しないでください。火花を抑制できずに**火災が発生する可能性**があります。

火災の危険性を回避するため、火気の近くで修理したり、保管したりしないでください。

燃料フィラー キャップにもれがないか定期的に点検してください。

当社で承認されたタイプで、支障なく作動するスパークプラグだけを使用してください(「技術仕様」の項を参照)。

イグニッション ケーブルに異常がないこと(良好な絶縁状態、接続の確実性)を確認してください。

マフラーに異常が無いことを確認してください。

火災の危険や聴覚障害を避けるために、破損したマフラーを取付けたまま、あるいはマフラーがないまま作業しないでください。

高温のマフラーに触れて、**火傷**しないようにしてください。

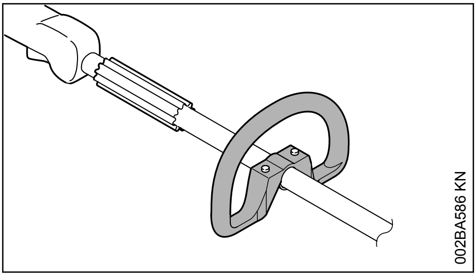
4 承認されたコンビツール

コンビエンジンには次の STIHL コンビツールを取り付けることができます :

コンビツール	**用途**
FS-KM	草刈ヘッド付き刈払機
FS-KM [1)]	草刈ブレード付き刈払機
FSB-KM	草刈ヘッド付き刈払機
HL-KM 145°	ロングリーチヘッジトリマー、調整可能型
HL-KM 0°	ロングリーチヘッジトリマー
FH-KM 145°	グランドヘッジャー
BG-KM	ブロワー
HT-KM	高枝カッター
BF-KM	カルチベータ
FCB-KM	エッジャー
FCS-KM	エッジャー
SP-KM	ハーベスター
KB-KM	パワーブラシ
KW-KM	パワースイープ

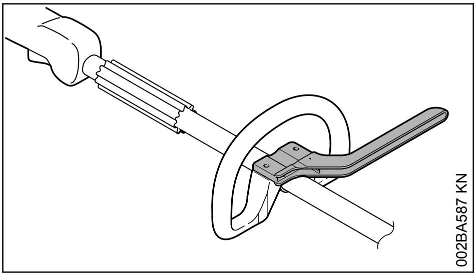
[1)] 機械に付属しているバリアバーをループハンドルに使用してください。「ループハンドルの取り付け」を参照。

5 ループ ハンドルの取り付け



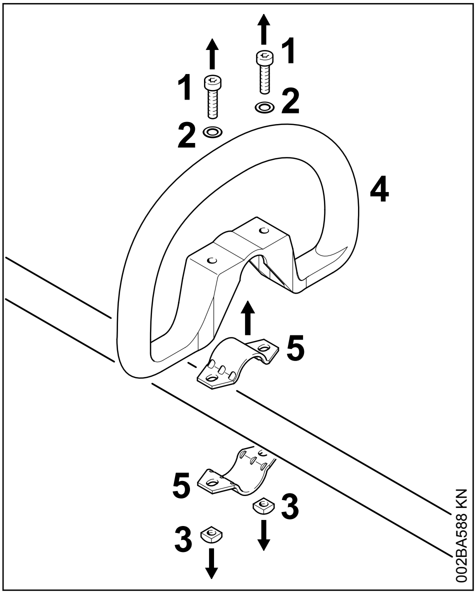
新しい機械は、ループハンドルが本体にあらかじめ取り付けられた状態で出荷されます。

5.1 バリアバーの使用

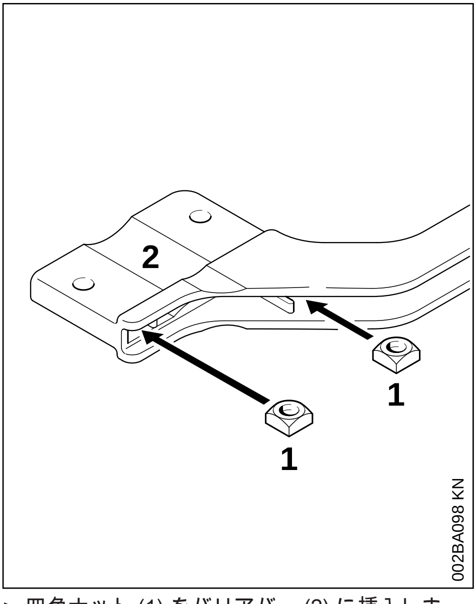


バリアバーは機械に標準装備されており、ループハンドルに取り付ける必要があります。

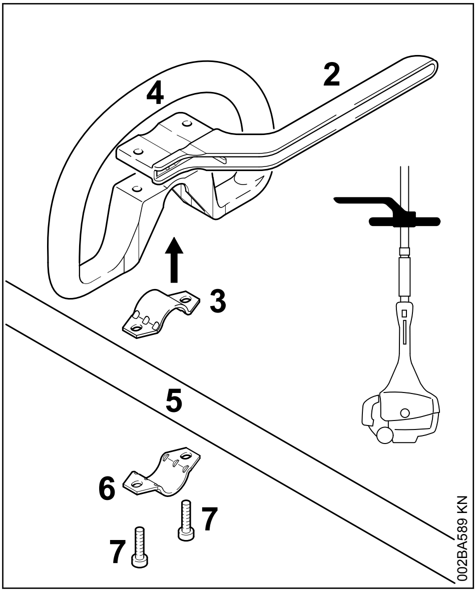
5.2 バリアバーの取り付け



- スクリュー (1) を取り外し、ワッシャー (2) とナット (3) と共に取り外します。
- ループハンドル (4) とクランプ (5) を取り外します。



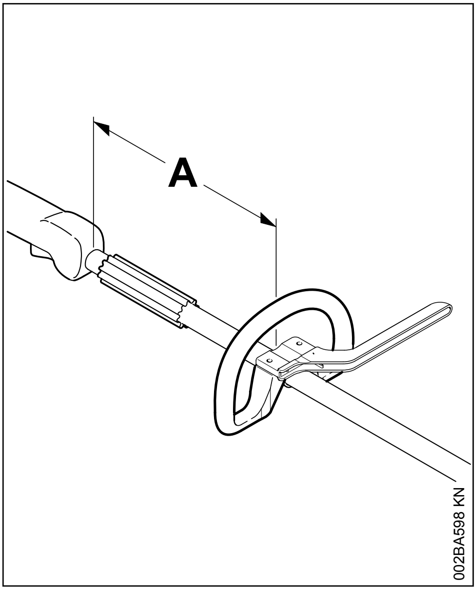
- 四角ナット (1) をバリアバー (2) に挿入します。穴の位置を合わせてください。



- クランプ (3) をループハンドル (4) に挿入し、両部品をシャフト (5) に載せます。
- クランプ (6) をシャフトに位置決めします。
- バリアバー□(2) を載せます。位置に注意してください！
- 穴の位置を合わせます。
- スクリュー (7) を穴に差し込み、止まるまでバリアバーにねじ込みます。
- 「ループハンドルの調整および固定」を参照してください。

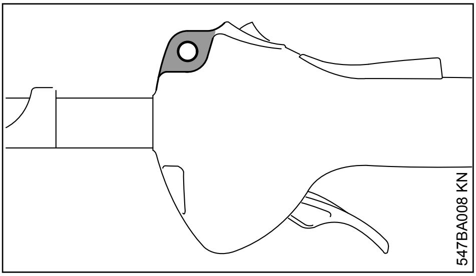
必ずバリアバーを取り付けた状態で機械を使用してください。

5.3 ループハンドルの調整と固定



距離 (A) を変更することで、ループハンドルを作業者と用途に最適な位置に調整することができます。
- ループハンドルを緩めます。
- ループハンドルの位置を合わせます。
- スクリューをしっかりと締め付けます - 必要に応じてナットが回転しないよう固定します。

6 吊り下げ用リング



吊り下げ用リングはコントロール ハンドルの正面端に取り付けます。

7 燃料

エンジンには、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料が必要です。

警告

燃料に直接触れたり、ガソリンの気化ガスを吸い込んだりしないよう注意してください。

7.1 STIHL MotoMix (モトミックス)

STIHL 社では、STIHL MotoMix の使用をお勧めしています。このあらかじめ混合された燃料はベンゼンや鉛を含まず、高オクタン価を特徴とし、常に適切な混合比をもたらします。

STIHL MotoMix には、エンジン寿命を最長化するために STIHL HP Ultra 2 ストロークエンジンオイルが使用されています。

MotoMix は、販売されていない市場もあります。

7.2 燃料の混合

注記

仕様と異なる不適切な燃料や混合比を用いると、エンジンに重度の損傷が生じるおそれがあります。低品質のガソリンやエンジンオイルは、エンジン、ガスケット、燃料ライン、燃料タンクを損傷させることがあります。

7.2.1 ガソリン

オクタン価が 90 以上の**高品質ガソリン**だけを使用してください。無鉛、有鉛は問いません。

アルコール濃度が 10% を超えるガソリンは、手動調整可能キャブレター付きエンジンではエンジン性能を低下させるおそれがあるため、そうしたエンジンには使用しないでください。

M-Tronic 搭載エンジンは、アルコール濃度が 27%までのガソリン(E27)を使用して本来の性能を発揮します。

7.2.2 エンジンオイル

ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 2 ストロークエンジンオイルまたは JASO FB、JASO FC、JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC あるいは ISO-L-EGD に準拠する他の高性能エンジンオイルを使用してください。

機械が寿命に達するまでの全期間で排ガス基準が満たされるよう、STIHL 社では STIHL HP Ultra(ウルトラ) 2 ストロークエンジンオイルまたは同等の高性能エンジンオイルの使用を指定しています。

7.2.3 混合比率

1:50 の比率で STIHL 2 ストロークエンジン オイルとガソリンを混合してください (オイル 1 に対してガソリン 50)。

7.2.4 例

ガソリン量 リットル	STIHL 2 ストロークエンジンオイル 1:50 リットル	(ml)
1	0.02	(20)
5	0.10	(100)
10	0.20	(200)
15	0.30	(300)
20	0.40	(400)
25	0.50	(500)

► 承認されている安全な燃料容器にオイルを注入してからガソリンを加え、完全に混ぜ合わせます。

7.3 混合燃料の保管

燃料は承認されている安全な燃料容器に入れ、乾燥して涼しく、安全な、照明や太陽光から保護された場所に保管します。

混合燃料は時の経過に伴って劣化します - 数週間分の必要量だけを混合してください。混合燃料は 30 日以上保管しないでください。照明、太陽光、低温、高温にさらすと、混合燃料はより短期間で使用できなくなることがあります。

STIHL MotoMix は、問題なく最長 5 年間保管することができます。

► 混合燃料が入った容器(携行缶)をよく振ってから給油してください。

警告

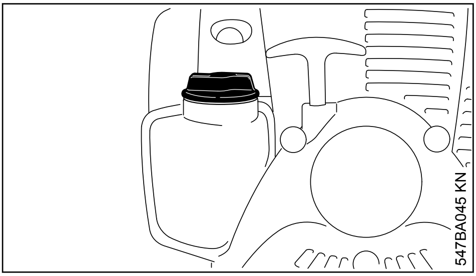
携行缶の内圧が高まっている可能性があるため、キャップは慎重に開けてください。

► 混合燃料を保管する燃料タンクや容器は、ときどき徹底的に清掃してください。

残存する燃料や清掃に使用した液体は、規制に従って環境に害を及ぼさないように廃棄してください!

8 給油

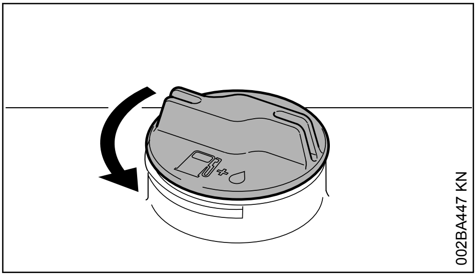
8.1 準備



► 給油する前に、汚れがタンクの中に入るのを防ぐため、タンクキャップとその周りをきれいにしてください。

- タンクキャップが上を向くように機械を置きます。

8.2 スクリュータイプのタンク キャップを開ける

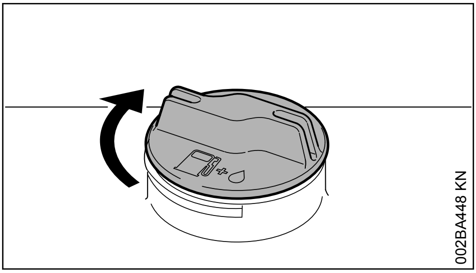


- キャップを反時計回りに、キャップをタンクの開口部から外すことができるまで回します。
- キャップを外します。

8.3 燃料の補填

給油の際には燃料をこぼしたり、あふれさせないでください。 当社ではスチール フィラー ノズル (特殊アクセサリー) の使用をお勧めします。

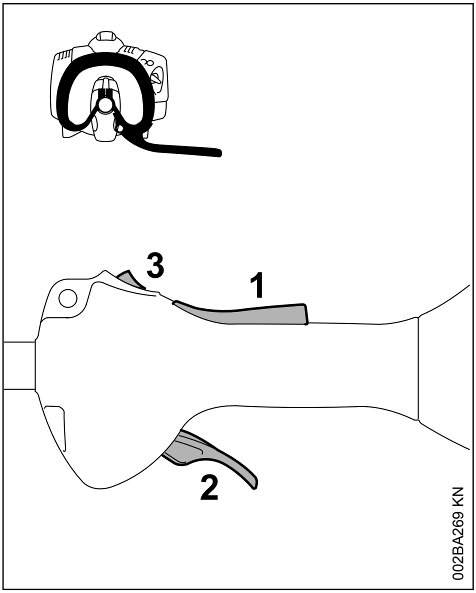
8.4 スクリュータイプのタンク キャップを閉める



- 開口部にキャップを置きます。
- キャップを時計回りに、止まるまで回します。手でできる限りしっかりと締め付けます。

9 エンジンの始動と停止

9.1 操作部



1 スロットルトリガーロックアウト

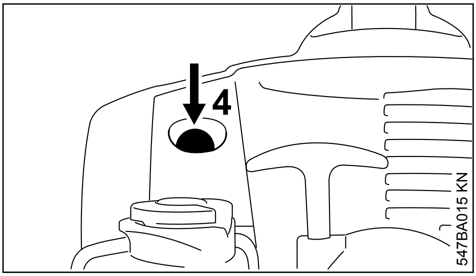
2 スロットルトリガー

3 通常運転および 0 = 停止位置での停止スイッチ。

9.1.1 停止スイッチとイグニッションシステムの機能

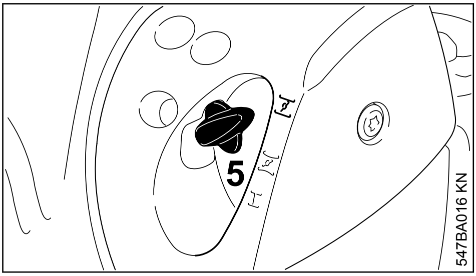
停止スイッチは通常、通常運転位置にあります (**押されていない**) : イグニッションはオンです - エンジンは始動準備ができています。停止スイッチを 0 の位置に押すと、イグニッションスイッチはオフになります。エンジンが停止した後、イグニッションは自動的に再びオンになります。

9.2 エンジンの始動



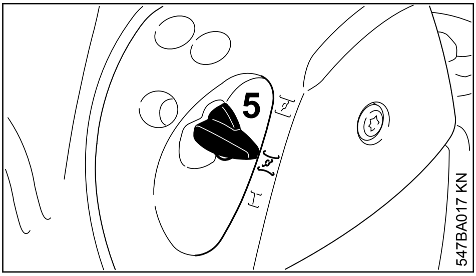
► 手動燃料ポンプ (4) を最低 5 回押してください - ポンプに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。

9.2.1 冷機エンジン (冷機スタート)



► チョークレバー (5) を押し込みながら、 の方向に回します。

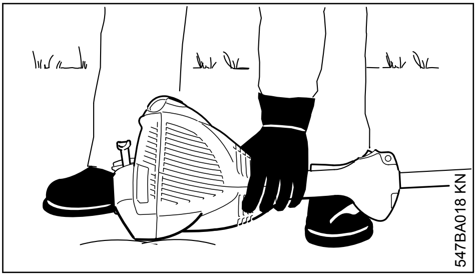
9.2.2 暖機エンジン (暖機スタート)



► チョークレバー (5) を押し込みながら、 の方向に回します。

エンジンの始動後、温まりきっていない場合もこの位置に移動します。

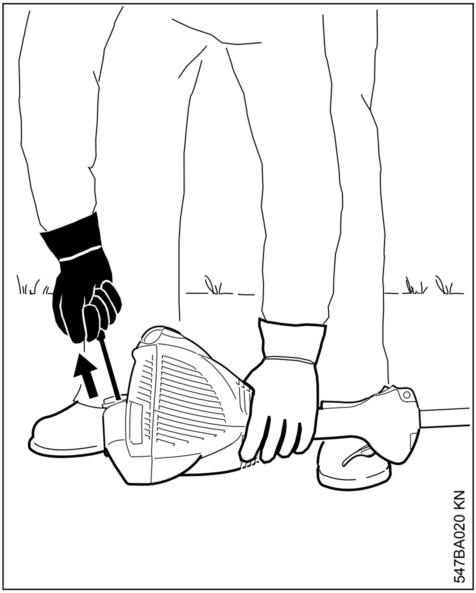
9.2.3 始動操作



► 機械を地面に置きます： コンビツールが地面やその他の物体と接触していないことを確認してください - コンビツールの取扱説明書の「エンジンの始動/停止」も参照してください。
► 安全と安定した足場に配慮してください。
► 機械を左手で地面上に**しっかり**固定して、押し付けます - スロットルトリガーやロックアウトレバーに触れないようにしてください。

注記

ドライブ チューブに足を載せたりひざまずいたりしないでください。



► 右手でスターターグリップを握ります。

9.2.4 エルゴスタートなしの機種

► スターターグリップをゆっくり引き、かみ合った感じがしたら、素早く勢い良くグリップを引っ張ります。

9.2.5 エルゴスタート付き機種

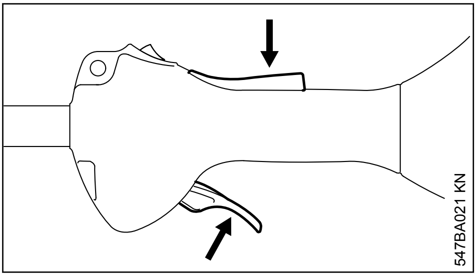
► スターターグリップをしっかりと引きます。

注記

スターターロープは最後まで引き出さないでください - **切れる恐れがあります。**

► スターターグリップを急に放さないでください。手を添えてハウジングにゆっくりと巻き込むとスターターロープは正しく巻き込まれます。
► エンジンがかかるまで始動させます。

9.2.6 エンジンがかかったらすぐに



- スロットルトリガーロックアウトを押し下げて、スロットルを開きます - チョークレバーが通常運転位置 I に移動します。冷機スタートの後では、スロットルを数回開いてエンジンを暖めます。

警告

キャブレターが適正に調整されていることを確認します。エンジンのアイドリング回転時に、コンビツールが回転しないようにしてください。

これで機械の使用準備が完了しました。

9.3 エンジンの停止

- 停止スイッチを O の方向に移動します - エンジンが停止します - 停止スイッチを放します - 停止スイッチが通常運転位置に自動的に戻ります。

9.4 始動に関するその他の注意事項

エンジンが冷機スタート位置 または加速状態で適切に作動しない

- チョークノブを に移動して、エンジンがかかるまで始動動作を繰り返します。

エンジンが暖機スタート位置で適切に作動しない

- チョークノブを に移動して、エンジンがかかるまで始動動作を繰り返します。

エンジンがかからない場合

- すべてが正しくセットされていることを確認します。
- 燃料タンク内を確認して、必要な場合給油します。
- スパークプラグターミナルが適正に接続されているか確認します。
- 始動手順を繰り返します。

燃料タンクが完全に空になった場合

- 再給油したら、手動燃料ポンプに燃料が充填されている場合でも、燃料ポンプを最低 5 回押してください。
- チョークレバーを、エンジン温度に合わせてセットします。
- エンジンを再始動します。

10 作業中の注意事項

10.1 ならし運転

新品の機械は、最初の燃料 3 タンク分の間は、高速回転(無負荷でフルスロットル)で運転しないでください。これでならし運転中の不要な高負荷を避けます。すべての動く部品は、ならし運転中になじんでくるので、この期間はエンジンの摩擦抵抗が大きくなっています。エンジンの最高出力を発揮できるのは、タンク 5 ~ 15 回分の使用後となります。

10.2 作業中

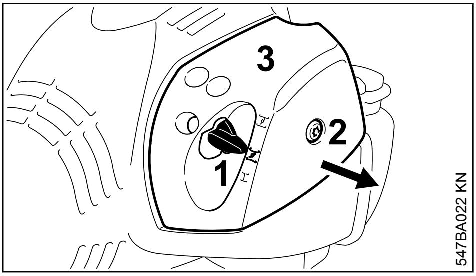
長時間のフルスロットル運転後は、しばらくの間アイドリングしてエンジンの熱を冷却風で放熱してください。組み込まれている部品(イグニッションやキャブレター)を熱から守るためです。

10.3 作業後

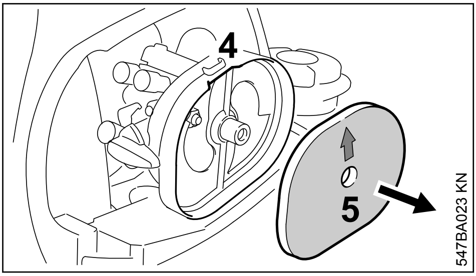
短期間使用しない場合 : エンジンが冷えるまで待ちます。燃料タンクを空にして、次の使用時まで火気のない乾燥した状態で保管します。長期間に未使用の場合は、「機械の保管」を参照してください。

11 エアーフィルターの掃除

11.1 エンジンの出力が著しく低下した場合は



- チョーク レバー (1) を に動かします。
- フィルター カバー (3) のスクリュー (2) をカバーが緩むまで反時計回りに回します。
- フィルター カバー (3) を取り外します。
- フィルターの周りに付着した汚れを取り除きます。



► フィルター ハウジングの溝 (4) からフェルト フィルター (5) を取り外します。
► 新しいフェルト フィルター エレメント (5) を取り付けます。補助的な方法として、手の平で叩くか、エアーで汚れを吹き飛ばします。洗わないでください。

注記

必要な場合は交換してください。

► フェルト フィルター (5) をフィルター ハウジングに、溝方向への矢印を目印に正しく取り付けます。
► チョーク レバー (1) を ⊻ に動かします。
► 四角形のスクリューのみを使用して、フィルター カバーを所定に取り付けます。スクリューを締め付けます。

12　キャブレターの調整

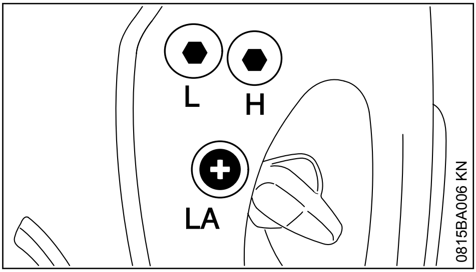
キャブレターは工場出荷時に標準設定されています。

これらの機械では、キャブレターを調整する必要がなくなりました。

どのような場所および運転状況でも、混合燃料がエンジンに最適に供給されるように、工場出荷時に設定されています。

12.1　アイドリング回転の調整

アイドリング回転中にエンジンが停止する



► エンジンを約 3 分間暖めます。
► アイドリング スピード調整スクリュー (LA) を、エンジンがスムースに作動するまで、時計回りにゆっくりと回します - カッティング アタッチメントが動いてはいけません。

アイドリング回転中にカッティング アタッチメントも一緒に回転する場合

► アイドリング スピード調整スクリュー (LA) を、カッティング アタッチメントが停止するまで反時計方向に回した後、さらに 1/2 から 3/4 回転、同じ方向に回します。

警告

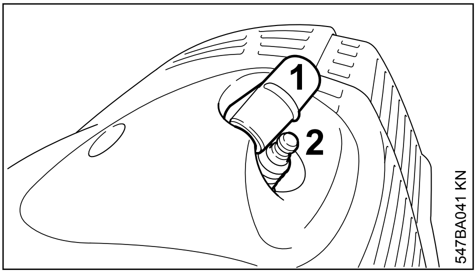
エンジンのアイドリング回転時にコンビツールやカッティング アタッチメントが回転し続ける場合､スチール サービス店に点検と修理を依頼してください。

13　スパーク プラグ

► エンジンの出力が低下したり､始動しにくくなったりアイドリングが不安定になったら､先ずスパーク プラグを点検してください。
► 約 100 時間運転後には新品のスパークプラグと交換してください - 電極が極度に焼損している場合はそれよりも早く交換してください。スチール社が承認した、雑音防止スパーク プラグのみをご使用ください - 「技術仕様」の項を参照してください。

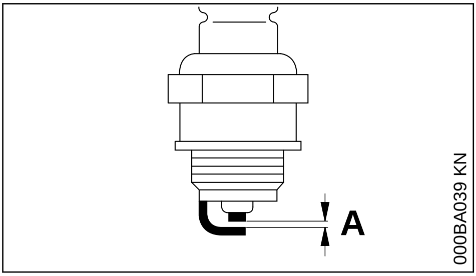
13.1　スパーク プラグの取り外し

► エンジンを停止します。



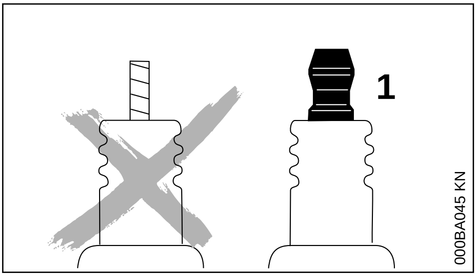
► スパーク プラグ ターミナル (1) を外します。
► スパーク プラグ (2) を緩めます。

13.2 スパークプラグの点検



- 汚れたスパークプラグをきれいにします。
- 電極ギャップ(A)を点検して、必要な場合は調整します - 数値は「技術仕様」の項を参照してください。
- 以下のような、スパークプラグが汚れる原因を排除してください。

原因：
- エンジンオイル混合量の過多
- エアーフィルターの汚れ
- 劣悪な使用環境



警告

アダプターナット (1) が緩んでいるか、外れている場合はアークが発生することがあります。発火または爆発が起きやすい環境下で作業を行うと、実際の火災または爆発が発生する恐れがあります。この場合、作業員が重傷を負ったり、建物に損傷を与えたりする可能性があります。

- 抵抗入タイプのスパークプラグを使用し、アダプターナットをしっかりと締め付けてください。

13.3 スパーク プラグの取り付け

- スパーク プラグをシリンダーにねじ込みます。
- ターミナルをしっかりとスパーク プラグに押し込みます。

14 エンジンの動作

エアー フィルターを掃除してキャブレターを適切に調整しても、エンジンの動作が不十分な場合は、マフラーが原因の可能性があります。

マフラーが汚れていないか (カーボンで詰まる)、スチール サービス店で点検してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。

15 機械の保管

30 日以上の保管時
- 換気の良い場所で燃料タンクを空にし、洗浄します。
- 燃料は、地域の環境規制に従って処分してください。
- 手動燃料ポンプが装着されている場合は、手動燃料ポンプを 5 回以上押します。
- エンジンを始動し、停止するまでアイドリングさせます。
- 機械、特にエアフィルターを入念に掃除します。
- アタッチメントを取り外し、清掃して点検します。金属部分に防錆オイルを塗布します。
- 機械を乾いた安全な場所に保管します。子供や他の無断使用者の手の届かない場所に保管してください。

16 整備表

以下の整備間隔は、標準的な作業条件用です。毎日の作業時間が長いか、作業条件が過酷な場合 (粉塵が極端に多い場所等) は、指定された間隔をそれに応じて狭めてください。		作業開始前	作業終了後または毎日	燃料給油時	毎週	毎月	12 ヵ月毎	故障時	損傷時	必要な場合
機械本体	目視検査 (状態と漏れ)	X		X						
	清掃		X							
コントロールハンドル	作動点検	X		X						
エアフィルター	清掃							X		X
	交換								X	
手動燃料ポンプ	点検	X								
	修理はサービス店に依頼してください [1]								X	
燃料タンク内のピックアップボディ	点検							X		
	交換						X		X	X
燃料タンク	清掃							X		X
キャブレター	アイドリング調整の点検 - コンビ/カッティングアタッチメントが動かないこと	X		X						
	アイドリング再調整									X
スパークプラグ	電極ギャップの再調整							X		
	100 運転時間毎に交換									
冷却風吸入部	目視検査		X							
	清掃									X
すべての手の届くスクリューとナット (調整スクリューを除く)	締め直し									X
安全ラベル	交換								X	

[1] STIHL 社では、STIHL サービス店の利用をお勧めしています。

17 磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書の記述を遵守して使用すると、機械の過度の磨耗や損傷が回避されます。

本機の使用、整備並びに保管は、本取扱説明書の記述に従って入念に行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容及び警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。
- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリーの使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

17.1 整備作業

「整備表」に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

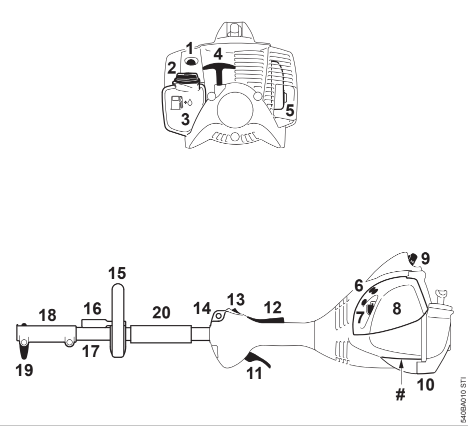
– 指定された時期に実施されなかった整備や不十分な整備(例：エアー フィルター、燃料フィルター)、不適切なキャブレターの調整または不十分な冷却空気経路の掃除(エアー吸入スリット、シリンダー フィン)が原因で生じたエンジンの損傷。
– 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
– 低品質の交換部品を使用したことによる本機の損傷。

17.2 磨耗部品

カットオフ ソーの部品によっては､規定通りに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます:

– クラッチ
– フィルター (エアー フィルター、燃料フィルター)
– リワインド スターター
– スパーク プラグ

18 主要構成部品



1 手動燃料ポンプ
2 燃料タンクキャップ
3 燃料タンク
4 スターターグリップ
5 マフラー
6 キャブレター調整スクリュー
7 チョークレバー
8 エアフィルターカバー
9 スパークプラグターミナル
10 マシンサポート
11 スロットルトリガー
12 スロットルトリガーロックアウト
13 停止スイッチ
14 吊り下げ用リング
15 ループハンドル
16 バリアバー
17 シャフト
18 カップリングスリーブ
19 ウイングスクリュー
20 スリーブ
機械番号

19 技術仕様

19.1 エンジン

単気筒 2 ストロークエンジン

排気量：	27.2cm^3
シリンダー径：	34 mm
ピストンストローク：	30 mm
ISO 8893 に準拠したエンジン出力：	0.8 kW (1.1 HP)/ 8500 1/min
アイドリング回転数：	2800 rpm
回転数制御範囲 (公称値)：	10000 rpm

19.2 イグニッションシステム

エレクトロニックマグネトイグニッション

スパークプラグ(雑音防止)：	NGK CMR 6 H, BOSCH USR 4AC
電極ギャップ：	0.5 mm

19.3 燃料システム

燃料ポンプ付き全方向ダイヤフラム式キャブレター

燃料タンク容量： 340 cm^3 (0.34 l)

19.4 重量

むねんりょう,コンビツールなし

KM 56 RC エルゴスタート付き： 4.3 kg

19.5 音圧･音響･振動レベル

振動に関する指令 2002/44/EC の順守の詳細については、以下をご覧ください -

www.stihl.com/vib

19.5.1 コンビツール

バージョンについては、「承認されたコンビツール」を参照してください。

騒音と振動の測定値には、以下の比率によるアイドリング回転数と最大定格回転数による値が含まれます：

FCS-KM、FCB-KM、FS-KM、FSB-KM、FH-KM および HT-KM	1 対 1
HL-KM	1 対 4
BF-KM、KB-KM、KW-KM、BG-KM および SP-KM	1 対 6

騒音と振動の正確な仕様は使用するコンビツールによって異なり、コンビツールの取扱説明書に記載されています。

19.5.2 ISO 22868、ISO 11201、ISO 11789 に準拠して測定した音圧レベル L_{peq}：

KM 56 RC：　90 dB(A) ... 96 dB(A)

19.5.3 ISO 22868、ISO 3744 に準拠して測定した音響出力レベル L_w：

KM 56 RC：　103 dB(A) ... 109 dB(A)

19.5.4 ISO 20643、ISO 22867、ISO 11789 に準拠した振動レベル $a_{hv,eq}$

左ハンドル
KM 56 RC：　4.7 m/s^2 ... 8.5 m/s^2

右ハンドル
KM 56 RC：　4.8 m/s^2 ... 8.2 m/s^2

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルついて 2.0 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s^2 です。

19.6 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (CHemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No.1907/2006 の遵守の詳細については、以下をご覧ください。

www.stihl.com

19.7 排気ガス

EU 型式認定手順で測定された CO_2 値は、以下に記載されています -

www.stihl.com/co2

(製品ごとの技術データ)。

CO_2 測定値は、代表的なエンジンを実験室の環境下で標準的な試験手順に従って測定した結果であり、特定のエンジンの性能を明示的、暗示的に保証する数値ではありません。

適用される排気ガス規制の要件は、本書に記載されている方法で機械を使用し、整備することによって満たされます。いかなる方法であれエンジンを改造すると、使用許可は無効になります。

20 整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

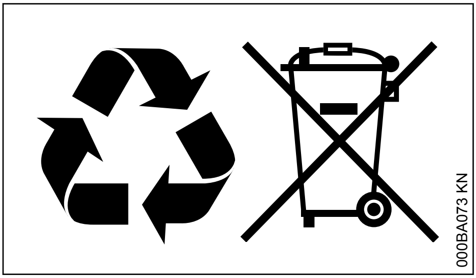
当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、STIHL ロゴマークおよびスチール部品シンボル マーク が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

21 廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。



- 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

22 EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstr. 115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

名称： コンビエンジン
メーカー名： STIHL
型式： KM 56 R
KM 56 RC
KM 56 RC-E
シリーズ番号： 4144
排気量： 27.2cm^3

指令 2011/65/EU、2006/42/EC および 2014/30/EU の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発/製造されたことを保証いたします -

EN ISO 12100、EN 55012、EN 61000-6-1 (以下のコンビツールと関連：BF-KM、BG-KM、FCB-KM、FCS-KM、FH-KM、FS-KM、FSB-KM、HL-KM、HT-KM、KB-KM、KW-KM および SP-KM)

本書に記載したコンビエンジンは、STIHL 社がこのコンビエンジンに使用することを承認したコンビツールにだけ使用できます。

技術資料の保管場所：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Produktzulassung

製品の製造年と機械番号は、機械本体に表示されています。

15.07.2021、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人

Dr.Jürgen Hoffmann

Director Product Certification & Regulatory Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)

CE

23 UKCA 適合宣言

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstr. 115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

名称： コンビエンジン
メーカー名： STIHL
型式： KM 56 R
KM 56 RC
KM 56 RC-E
シリーズ番号： 4144
排気量： 27.2cm^3

英国の規制 - 電気･電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限規制 2012、機械類の供給 (安全性) 規制 2008、電磁互換性規制 2016 - の関連条項に準拠し、製造日に有効であった以下の基準の版に従って開発/製造されました。

EN ISO 12100、EN 55012、EN 61000-6-1 (以下のコンビツールと関連：BF-KM、BG-KM、FCB-KM、FCS-KM、FH-KM、FS-KM、FSB-KM、HL-KM、HT-KM、KB-KM、KW-KM および SP-KM)

本書に記載したコンビエンジンは、STIHL 社がこのコンビエンジンに使用することを承認したコンビツールにだけ使用できます。

技術資料の保管場所：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

製造年と機械番号は、製品本体に表示されています。

2021 年 7 月 15 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人

Dr.Jürgen Hoffmann

Director Product Certification & Regulatory Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)

UK
CA

0458-540-4321-D

www.stihl.com

0458-540-4321-D